

令和2年度 刈谷市 共存・協働のまちづくり推進委員会 第1回夢ファンド部会 記録

日時：令和2年7月1日（水）

午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

場所：刈谷市役所 804 会議室

出席者

団体名・役職等	氏 名
刈谷市民ボランティア活動センター センター長	米田 正寛
名城大学 教授	昇 秀樹
一般公募	杉戸 真
刈谷市公民館連絡協議会 書記	小川 行皓
刈谷市婦人会連絡協議会 会計	加藤 京子
NPO 法人刈谷おもちゃ病院	長澤 勇夫
防災ママかきつばた 代表	高木 一恵
刈谷市商店街連盟 広報・IT委員長	鱸 裕介

事務局

所 属	補 職 名	氏 名
市民活動部市民協働課	課長	石川 領子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼地域支援係長	酒井 聡
市民活動部市民協働課	協働推進係長	酒井 武士
市民活動部市民協働課	主任主査	下島 大樹
NPO法人ボランタリーネイバース	理事・相談事業部チーフ・イルカ-	遠山 涼子

1 開会・あいさつ

(1) 定刻になり、協働推進係長が開会を宣した。

(2) 部会長あいさつ

ボランティア活動センターでは、2月からキャンセルが相次ぎ、4月からは開館時間を制限した。6月以降、少しずつ団体の活動が戻りつつあるが、団体の4割程度が利用する状況にあり、イベントの予定や団体が集まる大きな研修や総会が実施できていないのが現状である。

今まで聞き慣れなかったオンラインを活用して活動を補助したり、できなかったことができるようになったりするのは良い点である。他方、コラボ70補助事業実施団体では年度内の開催が難しい状況もある。これらについて、議題に沿って意見交換したい。

2. 議題

(1) かりや夢ファンド補助金について

■資料 P1～2、募集要項・チラシを提示し、夢ファンド概要について事務局が説明

- ・かりや夢ファンド補助金（以下夢ファンド）は、市民からの寄附を基金に積み立て、寄附と同額を刈谷市も基金に積み立てる「マッチング・ギフト方式」を採用し、運用している。

（かりや夢ファンド補助金メニュー）

- ①まちづくり活動支援：市内で市民団体が行う公益的なまちづくり活動を支援。補助上限額20万円、補助率2分の1。同一事業は2回まで継続補助可能（目的・手法が同一の類似事業は不可）。ただし、コラボ70補助金採択事業は回数に含めない。
- ②NPO法人設立支援：NPO法人の立ち上げを支援。申請1回目の補助上限額10万円、補助率3分の2、2回目の補助上限額5万円、補助率2分の1。
- ③まちづくりびと支援：研修等の経費を支援。補助上限額は研修場所が国内の場合1万円、海外の場合5万円、補助率10分の9。

（今後のスケジュール）

- ・まちづくり活動支援、NPO法人設立支援は7月15日募集開始、9月30日締切。まちづくりびと支援は通年で募集する。
- ・今年度の夢ファンド部会について、第2回（11月6日）は申請内容について確認する書類審査を行い、5万円以下の申請は採否を決定する。第3回（1月16日）は公開審査会として、部会員が審査員を務め提案者からのプレゼンに対して審査し、採択事業を決定する。

■質問・意見交換

- 委員：NPO法人設立支援事業の補助上限額について、1回目は10万円・2回目は5万円とあるが、2回申請する場合、満額補助した場合10万円となるか、それとも15万円か。
- 事務局：2回に亘り申請した場合、1回目で10万円、2回目で5万円交付となるため、合わせて15万円となる。
- 委員：募集要項について、文言の修正をいただきたい点がいくつかあるため、後程お伝えしたい。

（2）令和元年度かりや夢ファンド補助金採択事業の実施状況について

■資料P3を提示し、実施時期の変更状況について事務局が説明

- ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、4～6月に予定された事業は延期・中止の報告を受けた他、多くの団体が実施時期を検討中である。

■質問・意見交換

1) 事業の継続について

- 委員：検討中・日程変更となっているものは11件ある。今年度中の実施は難しいであろう。仮に、1年延期しても実施できなかった場合はどうするか。
- 事務局：コロナによる影響は見通しが難しく、今年度中に日程を再検討する事さえ難しい状況にある。無理に実施することは夢ファンドの趣旨と異なり、安全を担保して実施しなければならない。実施期間を延長することについて内部で検討を始めている。延長する期間や実施できなかった場合の対応は、その時の状況に応じた判断となる。
- 委員：「なかよしGS」は店舗が出来上がっていた。喫茶コーナーは閉鎖となりコーヒーの提供は中止されて話ができなかったが、実施されている。

2) 前払金の支給について

委員：前払金申請は提出されているか。何団体が申請したか。

事務局：前払金については、採択団体の約半数から申請があり支給した。

委員：コラボ70は規模が大きいので、準備等でお金を使っているだろう。準備を重ねたとしても行事が実現できない可能性もある。

事務局：それまでの活動にかかる経費は、団体の状況により異なるため、個別に話をして決定することになる。行事を実施しなかったからとして、準備段階にかかる経費も含めて返却を求めるとはしない予定である。

委員：努力した点は認めていただきたい。

部会長：期間中に行事が実施できるとよい。

(3) 検討事項

ア 公開審査会における審査の基準・点数について

■資料 P4～6 を提示し、基準点の計算に会場点を加算する変更について事務局が説明

- ・公開審査会：1月16日（日）10時から、市民ボランティア活動センターにて開催。
- ・まちづくり活動支援事業は、5つの審査の視点に基づき25点満点。NPO法人設立支援事業は、6つの審査の視点に基づき30点満点で審査を行う。基準点は満点の2分の1とし、基準点に満たない団体は不採択とする。
- ・基準点について、これまで「審査員の平均点の合計」としていたものから、「審査員の平均点の合計に、会場投票による点数を加えた点」へ変更する。
- ・変更理由は、審査員の採点のみで採否を決めることに対する負担軽減、会場投票の点数も含めて採否を判断することで会場投票に意義を持たせるため。なお、会場投票の全体の得点に占める割合は10分の1程度であり、会場投票点が審査結果に大きく影響することはない。

■質問・意見交換

委員：開催場所について、4会場の表記が様々であるが、いずれも「市民交流センター」という同じ建物内である。統一した表記にするよう検討いただきたい。

事務局：市民交流センター1階・2階とすると統一した表記となる。ボランティア活動センターは1階にあるが、入口からロビーは市民交流センターである。一般来場者が対象となる「プレゼン会場」および「パネル展示」は市民交流センター1階として案内する。審議や託児の対象は限定されるため、個々に案内する際、分かりやすい表記に努める。

部会長：利用者目線か、管理者による違いによる。利用者へ案内の際には、市民交流センター1階・市民ボランティア活動センターとあると分かりやすい。

イ かりや夢ファンド補助金の今後の募集PRについて

■資料 P7～8 を提示し、募集説明会・実績報告会中止に伴う代替措置の提案について事務局が説明

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月に予定した募集説明会・実績報告会は中止した。
- ・今後、収束した場合においても、人が集まる場の開催は感染拡大のリスクが伴う。他方、近年説明会に参加せずに応募する団体が大半であり、参加者数が少ない点が課題としてあった。

(募集説明用動画)

- ・申請のポイントや注意点をまとめた動画を作成し、市ホームページやYoutubeに掲載する。
- ・市民だよりや募集チラシに動画のQRコードを掲載し、閲覧に誘導する。

(実績報告動画)

- ・採択事業完了後、実績報告動画を作成し、市ホームページやYoutubeに掲載したり、市民ボランティア活動センターで常時放映したりする。
- ・自団体で作成が困難な団体は、動画作成のサポートや講座の機会等、積極的に情報提供を行う。
- ・補助金を活用してどのような効果が生まれ、まちづくりが進んだか、団体自身の目線で報告を行うことで、ファンドの活用を促すことを目的とする。

■質問・意見交換

委員：ぜひ取り組んでいただきたい。動画は一番分かりやすいし、若い世代は日常的に活用している。

検索しても肝心なところにたどり着けない場合があるが、QRコードはアクセスしやすい。説明会は今年度実施できないので、テスト的に取り組んでいただけるとよい。

委員：参考までに、twitter フォロワー数はどのくらいか。Youtube のチャンネルを持っているのか。

事務局：市民協働課のアカウントがありフォロワーは 151。Youtube は、広報広聴課の登録はあるが、新たに夢ファンド用にチャンネルを開設する予定である。

委員：SNSの活用に関して、様々なツールがありそれぞれ団体も活用しているだろう。コラボ 70 採択団体は規模の大きな団体も多くフォロワー数も多いかもしれない。「刈谷駅前うどんを愛する会」は映像を用いてプレゼンされており、飲食業の方はノウハウがあるだろう。団体の中には、SNSでの展開や映像・画像を活用した広報に長けているところもあるのではないかと。市が単独で取り組むのではなく、活用している団体を巻き込み、一緒にPRしてもらうことで、相乗効果が生まれるとよい。

事務局：市民協働課のフォロワー数は少なく発信力は弱い。採択団体にQRコードやリンク設定の協力を得て、団体の発信力を借りる形で閲覧数を増やすよう検討したい。

ウ コラボ 70 補助金事業の追加審査について

■資料 P9～11、別添資料を提示し、追加提案の経緯と事業内容について事務局が説明

(提案の経緯)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、コラボ 70 補助金はじめ様々な行事やイベントが中止される中、地域に元気を取り戻す一助とするため、(一社)刈谷青年会議所から刈谷出身アーティストであるMICRO氏 (HOMEMADE 家族) を発起人に、「地域の絆」をテーマとした地域応援ソング制作プロジェクトと題し、様々な市民が参加するミュージックビデオ (以下、MV) の制作について、提案があった。
- ・刈谷市として、コラボ 70 補助金を通じて活動を支援することを考え、追加審査として諮りたい。
- ・コラボ 70 補助金：市制施行 70 周年をPR する事業が対象。補助上限額 100 万円、補助率 3 分の 2。
- ・5 つの審査の視点に基づき 30 点満点で審査を行う。採択基準点は満点の 2 分の 1 とし、基準点に満たない場合は不採択とする。
- ・予算額 1,500 万円のところ、採択金額 1,359 万円であり、100 万円の補助は可能である。

(今後のスケジュール)

- ・本日、事前質問の取りまとめを行い、プレゼン審査を経て採否を決定する。審査は非公開とし、市役所もしくはボランティア活動センターにて開催する。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、ZOOMミーティングを利用したオンラインによる参加と併用して行う。

■質問・意見交換

（経費内訳について）

- 委員：「収支予算書」について、その他経費 330 万円とあり、総事業費 350 万円のうち大半を占める。「楽曲、MV 制作費」の内訳をご説明いただきたい。
- 事務局：団体が作成した企画提案書によると、楽曲制作費として編曲作業、レコーディング、マスタリング等、MV制作費として、クリエイター監修費、撮影費、動画編集費、そして諸経費とある。
- 委員：クリエイター監修費や楽曲制作費は人件費に充たるだろう。商業ベースの楽曲制作に比べると、単価を抑えているのだろうか。
- 事務局：発起人であるM I C R O氏の作詞にかかる費用は無償とされ、所属事務所への支払は計上されてない。MV制作など必要な外部協力者への経費が計上されている。

（楽曲制作について）

- 委員：制作者として、刈谷出身者が何名か挙げられているが、実際にどのように曲を作るのか。曲のイメージや、何曲作るのか等、審査会で具体的に示していただきたい。サンプルや制作予定者がこれまで作った楽曲でも参考となる。
- 事務局：審査会までに、曲のサンプルを準備していただく予定としている。
- 委員：市民参加型 MV 制作について、「刈谷市家族・団体など 130 組程度」とあるが、130 組以上応募があった場合、どのように選ぶか。
- 事務局：プレゼン審査会における事前質問で挙げさせていただく。

（普及展開）

- 委員：制作したMVはどのように展開する予定か。DVD 制作について、具体的に説明・提案していただきたい。
- 事務局：DVDは 500 枚制作するとあり、それらを基に展開する。なお、500 枚配布後の展開については、審査会にて団体から説明していただくとよい。学校や各種イベントへの働きかけについては、団体から考えを説明していただく。
- 委員：制作した音楽が広く市民に使われるよう、盆踊りバージョンなどがあってもよいと思う。NHK ドラマにもあるよう、後々まで語り継がれる歌になるとよい。
- 部会長：MVに出演するのはどんな人か。市内の学校はじめ様々なところへ呼びかけ、多くの人を集める場合、参加した人たちにこの活動が浸透する PR の方法とはどのようなものか。人が集まることも難しい状況の中、なるべく多くの人が登場するためどんな工夫をするか。映像の制作は簡単にできるかもしれないが、完成して終わりではなく、その後の展開として、参加した人たちや市民にとって自分たちのものという感覚をもって活用する姿がイメージできるようなプレゼンに期待したい。
- 委員：市内行事や商業施設等広く展開を予定しているが、どのように浸透させるか。特に、教育機関への働きかけについて、具体的に対策を説明していただきたい。イメージソングとして元気のよい曲等で、たとえば、ダンスが加わると子どもたちが曲にあわせて踊るなど、拡がりやすい。幼稚園や保育園で撮影を検討している場合、教育機関は受け入れに柔軟な対応を期待したい。
- 事務局：学校や各種イベントへの働きかけについては、審査会にて団体から考えを説明していただく。

委員：実行委員会名簿に市役所職員とあるが、どのような役割を担うか。

事務局：担当は決まっていない。たとえば教育委員会への橋渡し役などの役割が考えられる。興味を持つ学校もあると思うが、市内一律に対応することは難しいため、工夫が必要である。

（刈谷市の歌について）

委員：コラボ 70 では「刈谷市民の歌 2020」を制作する事業が採択されている。すみ分けはどのように考えられているか。今回の提案は、メジャーなアーティストが登場し、影響度があるため、「市役所公認」と捉えられかねない印象がある。

事務局：「刈谷市民の歌 2020」は 30 周年記念事業で制作された市歌の 1～3 番に、70 周年を記念して 4 番を加える提案である。公開審査会でご指摘のあった著作権に関しては、制作当時の記録が確認できず、著作権がどのような状態か判断が難しい状況のため、公認とできない旨を団体に伝えている。コラボ 70 補助によって制作される歌はどちらも、様々なところで活用していただきたい。

委員：たとえば早稲田大学歌と別に応援歌があるように、刈谷市の歌とともに刈谷市応援の歌、2 つが共存する形でつくってもらいたい。両方とも「刈谷市歌」であり「応援ソング」であるのは、市民にとって分かりにくい。できればすみ分けるよう、調整いただきたい。

委員：刈谷市の市歌の存在を知らなかった。市民の認知度はわからないが、地域応援ソングを作っても二の舞となり、浸透しないのではないか。

事務局：30 周年で作られた市歌と比較してどちらかを公認として認めるものではない。双方が特徴を出し合いながら、共に生きるよう、市としても応援したい。

（プレゼン審査にむけて）

部長：本日の質問はあらかじめ団体へ伝え、プレゼンで説明をいただくよう、準備をいただきたい。また、市民だよりに採択団体の一覧が掲載されていたように、追加審査会で決定した場合においても広報誌での紹介を検討いただきたい。多くの方に知っていただけるよう、周知の機会を活かして展開していただきたい。

事務局：団体の希望を確認し、紙面の担当部署と調整して実施する。

■追加審査会日程

7月20日（月）19時00分から 刈谷市役所804会議室

オンライン参加 昇委員、高木委員、鱸委員 3名

■委員による意見交換を受けて、事前質問内容を以下の通り確認した

団体名	事業名	質問等
刈谷市地域応援ソング制作実行委員会	刈谷市地域応援ソング制作プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・事業の実施を通して、70周年の啓発にどのように取り組まれますか。70周年の啓発につながる内容について詳しくご説明ください。・「収支予算書」その他経費330万円とありますが、「楽曲、MV制作費」の内訳についてご説明ください。・刈谷市ゆかりのアーティストとの曲作りを行う上で、役割分担や制作過程でどのように協働されますか。また実行委員会はどのような役割を果たすか、詳しくご説明ください。・楽曲について、曲のサンプルや制作予定者がこれまで作った楽曲等イメージがつくものをお示しください。また、何曲つくりですか。・MVの完成イメージを具体的にご説明ください。・「各種市内行事や小学校、商業施設等へ使用」とありますが、どのように働きかけますか。特に、教育機関へむけた対策をご説明ください。また、幼稚園や保育園を会場に撮影を予定されている場合、感染症対策に

		<p>はどのように取り組みますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MVへ出演者を多く集める場合、活動を市内の学校や多くの人に広めるためのPRの方法をご説明ください。 • 市民参加型MV制作に「刈谷市家族・団体など130組程度」とありますが、130組以上応募があった場合は、どのように選ばれますか。 • 制作したDVD500枚はどのように配布されますか。また500枚を配布完了した後はどのように展開されるご予定でしょうか。
--	--	---

3. その他

(1) 次回開催日

ア 第2回夢ファンド部会

11月6日（金）13時30分から 刈谷市役所603会議室にて

イ 第3回夢ファンド部会（公開審査会）

1月16日（土）10時00分から 刈谷市民ボランティア活動センターにて
申請件数により開始時間に変更あり。